

■■■ 元気なうちに整える ■■■

# ゆるい しゅうかつしんぶん 終活新聞

2024年(令和6年)8月

## 第56号

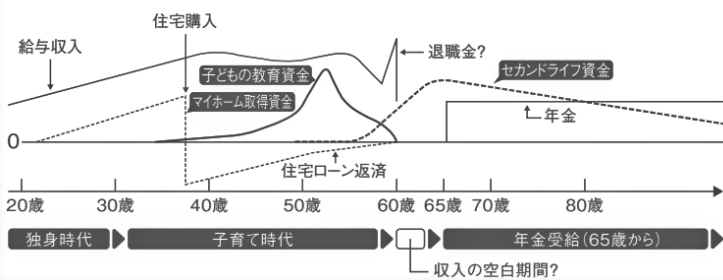
終活は人生が終わることへの準備だけでなく、人生をよりよく生きること。選択肢を知り、主体的に生きること。わかりやすい終活情報発信メディア。

### 人生の軸、ライフプランを考えよう 教育、住宅、老後のお金

ライフプランとは、人生における大きなイベントで必要になるお金を予想して計画を立てること、自分の価値観に沿った人生を送るために具体的に何を必要とするかを考える「将来計画」のこと。結婚や出産、就職や転職、住宅や車の購入・買い替え、働き方や老後の過ごし方などがあります。実現していくには、★生きがい＝人間関係、ライフワークなど、★健康＝医療、生活習慣など、★お金＝収支、資産形成、保障など、3つのバランスが取れていることが大切です。将来に向けた準備をしておくことで、安定した生活を続けられる可能性が高まり、老後の収入や病気や事故により働けなくなった場合に備えられます。

人生の3大資金は、①教育、②住宅、③セカンドライフ(老後)。これらの資金は大きなお金になるため早めに準備する必要があります。お金の貯め時は3回あると言われ、①子どもが生まれる前、②働き盛り＝教育資金設計が重要、③教育費のピーク後＝住宅ローン返済は退職まで。ただし、時代は変わり晩婚やおひとり様など状況が違いますので、自分自身のライフプランに向き合う必要があります。教育は大学全入時代に突入し、費用はどんどん高くなりました。日本学生支援機構(JASSO)の調査では、およそ2人に1人は奨学金。貸与型の場合、社会人スタートから借金を背負うかたちになり、結婚や育児、住宅購入など将来のイベントにも影響がでてきます。納得した上での検討が必要です。住宅は原材料費が上がり、今「利上げ」が話題ですが、住宅ローン金利上昇の可能性もありそうです。社会問題となっている空き家や実家のその後を考えることでマイホームの在り方を話し合うことは大事でしょう。老後・セカンドライフでは多くの人の収入の柱は貯蓄と公的年金。物価高や年金が少ないのでいつまで働き続けるのだろうと苦しい生活をされている高齢者もおります。今後ますます年金に依存しない収入を考えておく必要があるでしょう。新NISAやiDeCoも注目を浴びておりますが、全てにおいて“おいしい”話はありません。時代にマッチした自分に必要な情報を自分で掴んで自分のライフプランに繋げていくのが一番です。自分がどのような生き方・暮らし方をしたいか？軸となるライフプランは基本となります。

■人生の3大資金の収入・支出



#### 【人生の3大資金】

- ①教育 ⇒ 積立て
- ②住宅 ⇒ 後払い
- ③セカンドライフ(老後) ⇒ 取り崩し

#### お金の貯め時は3回!?

現状を把握しててみて、ライフプランシート、シミュレーションをしてみましょう

### □ ライフプラン診断・シミュレーションをやってみよう

住宅や保険、大きなお金が動きそうな前にライフプランやキャッシュフロー表を作成することは大事です。偏りのないFPに相談するか、簡単ではありますがインターネット・HPでシミュレーションをすることができます。金融庁「ライフプランシミュレーター」、FP協会「ライフプラン診断」、コープ共済「ライフプランシミュレーション」などあり、私は個人で80ページ超のシミュレーション結果を出すものをしました。老後の収入の柱となる年金は、毎年誕生月頃に日本年金機構から「ねんきん定期便」が郵送で届きます。50歳以上の場合は老齢年金の見込額が記載されます。「ねんきんネット」で将来受け取る年金見込み額を確認することも



終活ノオトSNS